

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



1. 負傷事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット事例
2. 体験した事例の名称	確保ロープ余長分におけるからまり事故事例
3. 体験した事例の中心的要素	夜間を想定した梯子車による救出訓練を実施中、リフターに2名搭乗し上昇する際、安全帯に取り付けてある確保ロープの余長分がリフター枠外に出ているのに気付かず、確保ロープがリフターのレーンにからまり、危うく身体がリフター外に放り出される、若しくはレーンに巻き込まれそうになった。
4. 体験した事例の原因・理由	<ul style="list-style-type: none"> ・リフター操作にだけ気を取られ、余長整理を怠っていた。 ・リフター操作に対し、完全に熟知していなかった。(訓練不足) ・夜間想定という不利な条件の危険予知不足。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 7年 10月 10日 午後 7 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：庁舎敷地内駐車場
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 負傷事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	
7. 事例体験時の活動	演習訓練、 [救助（通常時の訓練）、]
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	その他：梯子車取扱訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[22]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[1]年、階級[消防士]、同様の活動[頻繁]、任務[隊員]
○当事者B	年齢[26]歳、勤続年数[8]年、現場経験年数[7]年、階級[消防副士長]、同様の活動[頻繁]、任務[隊員]
○当事者C	年齢[45]歳、勤続年数[26]年、現場経験年数[25]年、階級[消防司令補]、同様の活動[頻繁]、任務[複数隊の隊長]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A 当事者B	救助隊長より当事者Bと共に梯子車リフター操作を指示される。	
経過2	当事者A	熟練した当事者Bにリフター操作を実施したい旨依頼する。	当事者Aはリフター操作が始めて。
経過3	当事者B	リフター内搭乗後、確認呼称をしながら確保ロープを取り付ける。	
経過4	当事者A	リフター操作にばかり気を取られ、確保ロープは取付けるが確認呼称は行っていない。	
経過5	当事者A	リフター操作に移行、地上10m付近で隊長より「停止」との指示を受ける。	
経過6	当事者A	周囲の確認をすると、自分の確保ロープ余長分がリフターレール内に入り込んでいる。	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○負傷事故の場合：負傷事故が起きたのはどうしてだと思いませんか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思いませんか？

指揮者が適切に指示した。他隊(員)から適切な注意を受けた。たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・ 活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・ 体調が悪かった。	いいえ
・ 悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・ 装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・ 必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・ 狭隘な場所であった。	いいえ
・ 暑かった（寒かった）。	いいえ
・ 野次馬が多かった。	いいえ
・ 現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・ 足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・ 足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・ 指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・ 隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・ 隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

